

消費者と提携し地域農業を守る



下郷農協

迎春

賛成多数で議案承認を受けた臨時総会



就任挨拶する（左から）玉麻組合長・行岡理事専務・片岡理事





新しい年を迎え

ご挨拶を申し上げます

代表理事組合長 玉麻 農夫男



補」として理事会に出席していただき、新たな提案や意見を述べる事ができるようにする。部門ごとにバラツキのあった職場会議を月1回必ず実施する。』ことです。

常に農協の状況を役職員・組合員で共有できるようにする。とが、今後の農協運営に大きな意味を持つてくると考えます。

昨年は理事二名の不祥事により、組合員・職員をはじめこれまで下郷農協を支えて下さっている多くの取引先の皆様にご迷惑・ご心配をおかけしましたことに対し、先ず最初にお詫び申し上げます。

今回の問題を深く反省し、新たにグリーンコープ生協より二名の方が農協の理事として選任され、新体制の下で今後の運営にあたります。

今後の農協運営では二度とこのような事態を起こさないため、理事会や職場会議等の運営を構造的に改革・実践し、さらに組合員への情報公開を徹底することと同時に実施する体制を構築していきます。

具体的には、『組合員の中から理事候補者を募って「理事

併せて、下郷の地域が多くの人々から、これまで以上に関心を持っていただけよう原点に帰って安全・安心な農畜産物の生産に全力をあげるとともに、グリーンコープ生協の皆さんのお力もお借りしつつ、販売力の強化を前面に掲げて実行することとが求められます。

更に新規就農者や移住者を迎える易くするための知恵を、多くの組合員・消費者や取引先の方々からも提案していただけるようにして、3年後には下郷地域も農協も変わったと言って頂ける様に頑張る決意です。本年も宜しくお願い致します。

代表理事専務

行岡 良治



新年、明けましておめでとうございます。
みなさん、ご承知のとおり、昨（22）年11月27日に開催されました臨時組合員総会とその後に開催されました理事会で、代表理事専務に選任されました行岡良治です。

私は、生協で長い間、経営トップの任を務めてまいりました。ですから、正直に申しまして、農協の経営・運営につきましては、疎（うと）い面があります。しかし同時に、生協も農協も、人間が形成する集団・組織でありますので、その経営・運営において、大切にすべきことは同じである、といえる一面があると思います。すなわち、人間が形成する集団・組織の運営において、なによりも大切にすべきものは、情報の即時流通です。

私は実は、昨（22）年の秋以降、下郷農協理事会の運営に側面から関わらせていただいていたのですが、私が第一に重視してきましたことは、理事の皆さんへの「情報の即時流通」でした。そのために、私はまず、理事の皆さんへ、情報を即時流通させるための連絡網の構築から、理事会運営の改善に着手いたしま

した。そして、その結果として、理事会に参加しておられる理事さんの顔つきが明らかに変化してきました。すなわち、理事の皆さんが自信をもって、主体的に理事会に参加してくださるようになり変わりました。

したがって、私が次に着手することは、理事会の構成メンバーの拡充・強化になります。すなわち、理事候補者（理事補）制度を創設し、組合員の中から理事補を選任し、理事補の皆さんにも理事会に出席・参加してもらい、理事会が抱える悩み・課題を共有してもらって、一緒に問題を解決していくメンバーを拡充・強化していくことです。

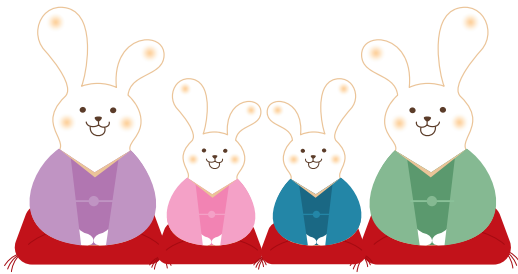
私は、すぐに実現できることでないことは承知のうえですが、理事補を20名ほど選任することが出来ましたら、下郷農協の正組合員数は300名弱ですから、理事・理事補として理事会に参加・出席するメンバーの員数が、組合員10名に対して1名の割合になることが出来ます。私はそうして、下郷農協を真に組合員に根ざした農協に変えていきたいと考えています。

私はまた、私が主催する職員

集会を月一度、必ず開催していくことによって、職員の皆さんが状況と課題を承知し、主体的に業務を遂行していける「職場としての下郷農協」を建設していくことを考えています。

以上のとおりです。私が考えていることは、実に平凡で単純なことばかりですが、これが実現されていけば、下郷農協の運営と経営は間違いなく改善されていくはずですよ。ですから皆さん、この新年が『下郷農協の新しい出発の年になる』ということとは確実です。

ですから、私は改めて、新年のご挨拶を皆さんに申し上げます。新年、明けましておめでとうございます。



女性部が味噌開き

下郷農協女性部は11月19日、下郷公民館にて手作り味噌の味噌開きを行いました。

4月に女性部と新婦人中津支部の合同で手作り味噌に挑戦したもので、いよいよ仕込んだ味噌の出来ばえを見るときが来ました。漬物用の桶に入れた味噌のおおいをはぐり、ビニール袋を開けてみると白いカビが少し出ていましたが、きれいに色付いた「味噌」になっていて、一同感動。仕込みの時に大豆をすりつぶす工程で、大豆の水切りが弱かったため、出来上がりの味噌が少し水分の多いものになりましたが、それでも皆さん喜んで持ち帰りました。

講師の吉田正子さんが準備したけんちん汁を出来立ての味噌で味付けし、皆でおいしくいただきました。家庭でもおいしい

味噌を使った料理が出来ること
でしょう。
(女性部 事務局)



臨時総会

粉飾決算に伴う「2021年度決算修正」などを承認

玉麻代表理事組合長・

行岡代表理事専務の新体制発足

11月27日(日)、下郷小学校体育館において下郷農協臨時総会が、正組合員総数296名に対し組合員220名(正組合員実出席61名、委任状と書面議決159名)の出席(出席率74%)で開催されました。今回の臨時総会は、粉飾決算に伴う2021年度決算修正承認や見直し3カ年事業計画承認をはじめ、粉飾に関わった組合長の辞任に伴う組合長選挙が行われ、玉麻農夫男氏を組合長に選出、玉麻代表理事組合長・行岡代表理事専務らによる農協再建の新体制が発足しました。

総会では冒頭、「臨時総会に先立ち開催した臨時理事会で、不正に関わった組合長らの辞任と、役員補充選挙で当選した行岡良治氏が代表権を持つ代表理事専務に選任され、本総会は代表理事専務を中心に議案提案を行う」旨の報告が行われました。

続いて、矢崎前組合長らが今回の不祥事について改めて組合員へ謝罪しました。

議案審議では、金吉地区伊福集落の末国勲男さんを議長に選出、粉飾決算に伴い当初の当期

利益金4,500千円から▲6,039千円への2021年度決算修正や、2024年度までの見直し3カ年事業計画を提案しました。

出席した組合員からは、「日販連の専務と行岡顧問の話をきいて、経過がよくわかった。聞いていて涙が出てきた。どうして、このようなことをしないといけなくなったのか、どうして、そのように思わせたのか、どうか、組合員として反省している。」、「下郷農協が必要であ



議決権含め多くの組合員が出席して行われた臨時総会

る。それぞれの集落を大切にして、農協を盛り立てていくことが、自分たちが生きるということだと思う。」、「この間、いろいろ説明を聞いたがなかなか分からなかった。話を聞いていても実際、再建は難しいだろうと思っていた。しかし、新しい理事の行岡さんと片岡さんのお話をお聞きして再建できるかもしれない、希望が見えてきたと



「農協を盛り立てていく事が、自分たちが集落で生きる事」と出席者に呼びかける組合員

思う。」、「信連との話し合いは出来ないのか。」、「グリーンコープに借りたお金は返せるのか。」、「明るい未来が考えられる総会だった。」、「下郷農協の設立の精神を頭の中に入れて、原点に戻って頑張りたい。」など、たくさんの意見が出されました。

質疑応答の後、議案採決に入り一部保留を除き圧倒的多数で提出議案は可決・承認されました。

なお、本総会には日本販売農業協同団体連合会の中塚敏春代



不祥事対応や今後の農協運営について質問する組合員

表理事、グリーンコープ生活協同組合連合会の日高容子会長に來賓の挨拶を頂くとともに、全国で産直事業に取り組む各団体から激励と連帯の応援メッセージをいただきました。

＊臨時総会および理事会におきまして、次のとおり新執行体制が決定致しました。

この執行体制のもと、地域農業の振興と当農協の経営改善・強化に努めてまいれる所存です。

代表理事組合長		代表理事専務		理事（参事兼部長）		理事		理事		理事		理事		理事		理事		代表監事		監事		監事	
玉麻 農夫男（新任）		行岡 良治（新任）		越尾 喜久男		田尻 嘉郎		金丸 隆昌		伊原 忍		石川 貴美子		鷹崎 晴美		片岡 宏明（新任）		鈴木 健久		山田 早人		永岡 香奈子	

組合員・関係者の皆様へ

下郷農業協同組合

代表理事組合長 玉麻 農夫男

代表理事専務 行岡 良治

不祥事件発生のお知らせとお詫びについて

平素より、農協事業につきまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、当農協において組合長らによる2021年度決算における粉飾が発生しました。

この様な事件が発生しましたことを深く反省致しますとともに、組合員・関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを心より深くお詫び申し上げます。

当組合では事実発覚後、本件不祥事が発生するに至る経過を総括し、原因の究明と当事者への処分、再発防止策等を決定するとともに、11月27日開催の臨時総会において、二度と粉飾決算をしない、下郷農協の経営を着実かつ抜本的に改善・強化していくための新体制を構築致しました。

今後は、不祥事件の発生を厳粛に受け止め、二度とこの様な不祥事を発生させぬよう、再発防止に向け役職員一丸となって取り組み、信頼回復に努めていく所存ですので、ご理解のほど切にお願い申し上げます。

有機野菜生産出荷組合

組合長 鷹崎 満行

「今年の抱負」

新年あけましておめでとうございませう。本年もよろしくお願ひいたします。

昨年の春、政府は「みどりの食糧システム戦略」を国会で法制化し、2050年までに化学農薬50%減、化学肥料30%減、有機農業に取り組む面積を全耕地の25%（約100万ha、ほぼ青森県全土と同じ）まで拡大す



鷹崎組合長の野菜圃場を見学する組合員

るといふ大胆な目標を打ち出しました。

日本における有機農業の現状といえは、有機JAS認証を受けている面積は全耕地面積で0・2%、認証を受けていないが有機で栽培されている面積を含めても0・5%しかありません。

世界から見ても伊8・6%、独6・1%、英4・0%、仏3・6%、加1・2%、韓1・0%、米0・6%（各国の耕地面積に占める割合）と主要国でも最下位、世界195箇国でも日本は109位と有機農業に関して大変後れを取っています。

今回の法制度は半世紀前より人にやさしく環境にも配慮した耕畜連携の循環型有機農業に取り組んできた下郷農協の活動を後押ししてくれるものと期待しています。

現在、浸透性農薬（ネオニコチノイド系農薬）の人への影響や、プラスチック被覆肥料（いわゆる一発肥料）がマイクロプラスチックとなり環境への負荷が増していることに、多くの方が関心を持ってください。

そのなかで、有機農業というものがある安心安全な食糧生産だけ

でなく、多様な生物を育み守っていく持続可能な農業であることを多くの方に知っていただけるような一年にしたいと思ひます。

また、脱サラして野菜づくり

耶馬溪酪農組合

組合長 脇坂 伸彦

「酪農家5軒が一つになつて」

昨年はロシア・ウクライナの戦争が始まり世界情勢は不安定となり、牛乳生産に必要な牧草や配合飼料が今なお高騰しています。また、円安がそれに拍車をかけています。

さらに副収入になっていた子牛価格の暴落で、酪農家にとって凄く厳しい一年となりました。

今年も引き続き厳しい一年となると思ひますが、国産飼料の増産を考え、安全・安心な牛乳を皆様に届けられるよう私達酪農家5軒が一つになって頑張つて



下郷農協・耶馬溪酪農組合
牛乳・乳製品の消費拡大を呼びかける酪農生産者
(昨年夏PR用に撮影)

を始め20年経過しました。これまでの経験をもとに有機野菜づくり「郷山の塾」なるものを企画し、野菜づくりに興味がある方達と交流を図りたいと思ひています。どうぞ、よろしくお願ひします。

行きたいと思ひます。

私達が丹精込めて生産する耶馬溪牛乳を、コップ1杯でも多く飲んで頂ければ本当に助かりますのでよろしくお願ひします。今年も私達酪農生産者に応援をよろしくお願ひ致します。

「今の時代を 乗り越えていくために」

2022年は我が家にも農協にとっても大変動の年でした。

2020年に養豚を継ぐと帰って来てくれた息子夫婦でしたが、その頃から餌代が上がるという話が出ていて、その影響が次の年から如実に出始め、2022年に入ると餌代が今までの7割増し位になりました。これもまだ戦争や円安等の影響があり先が見えません。

その上、未だに抑えきれない豚熱（トン熱）の影響で雄豚が手に入らなくなり、子豚がどんどん減ることで2022年の出荷頭数を考えると、息子夫婦も生活していくのが無理と考え、仕事を探し始めたところ元の職場が受け入れて下さり、三月に大阪へ戻りました。

その間、孫が生まれたことと、一年半くらい息子夫婦と過ごせたのは幸せなことでした。

また老夫婦での養豚が始まりましたが、4月に雄豚が手に入り、一番大変なオガコ豚舎の掃除も、必要な時に移住者の若い人が二人一組で入って下さるようになっています。新しい雄豚が入り、新しい血が入るという事はこういう事かと思うくらい子豚の育ちも良く、今年の初めから出荷になります。

そして農協の問題が起これ、これを機会にご縁があったグリーンコープ生協の方々が農協の苦境に手を差し伸べてくださいました。

お陰様で農協商品の在庫はもろろん、これから出る商品を生産者も生活していける仕入れ値を考え努力してくださっています。

今までは消費者の方の買いやすい値段になっていましたが、これからは生産者が生き残れる値段でお願いしないと生産者がいなくなってしまう。

戦争、円安、温暖化、少子高齢化等これらを受け入れながら、今の時代を乗り越えていくにはどうしたらいいかを考える、大切な年にしなければいけないのだと思います。



健康米組合の元組合長が耕作できなくなり4～5年が過ぎ、自作田の周りの耕作放棄地の水田にヒエ・雑草が背の高さまで延んできました。

また防護柵設置が張り難いので隣田の地主に「小作料ゼロで良いなら作りましょうか」と言うのと、「是非作って下さい、祖先から受け継いだ田んぼを荒らす訳にはいかない」と言われて作ることにしました。

最初はヒエがあり、自信が無かったので作付圃場を2～3枚にして除草剤（銀河）を散布したらヒエが減少していました。それから毎年、利用権設定を増やしていききました。

除草剤（銀河）を2年、除草剤（天空）を2年で、今年は農業法人の樋桶の郷が契約終了の水田も入れて、2・6ヘクタールの耕作になりました。

個人農業には農業機械の補助金は無いので中古のトラクター、

田植え機、コンバインを近所の人に紹介してもらい、少しずつバージョンアップしています。法面が長いので田の周りの草を最初にバーを一杯伸ばして切って、法面で切る面積を少なくしています。

今年、田植え後、畔草を切っていて田の中をみるとカブトエビが何匹も泳いでいました。カブトエビには田んぼの雑草を取る働きがあり、泥の中で芽生えた水田の雑草芽を食べ、泳ぐ時に水を濁らせて雑草の生育を抑える効果もあるそうです。

元組合長が防護柵を全体に囲っていたのに葛がまき倒され始めたが、要所々を補修しながら、イノシシが入る所はトタンで防ぎ収穫近くなると電気柵を張り

ました。草切は森林組作業班の真似をして朝夜が明けると法面の長い草切を2時間して朝飯を食べます。

昨年は水が少ない所でセンダングサができコンバインに草が詰まり、天気が良いのに1日掃除がかりました。

昨年は2品種でしたが今年は3品種にして一人農業の労力を分散しながら、水の少ない所は早生品種で乗り切ろうと思っています。

法面に果樹が、水田には黄金色の稲穂がなびく、耕作放棄地がない由布岳西峰が見える、そんな両畑集落の風景を思いながら、今年も畔道を歩いているでしょう。

「耕作放棄地で一人農業」



毎年6月恒例のホウ酸団子作り

「あけましておめでとうございます」

私達女性部の部員は、生産者であり、消費者であり、農協で働いている労働者等の集まりです。何らかのかたちで農協に関わっています。

厳しい経済状況の中でこれまで女性部総会で組合長から「黒字決算です」と挨拶を頂き安心してきました。今回の件は残念ですが、新しい動きが始まりました。

下郷農協は小さな農協です。小さな農協が生産者・消費者・地域の住民と力を合わせて「安心・安全な食べ物」（命の大もと）を作り提供しています。大変な事ですが、素晴らしい事ではないでしょうか。

新しい年に、女性部は何ができるのでしょうか。しなければならぬのでしょうか。ピョンと飛躍が必要でしょうか。

新しい年が平和で希望のもてる年になります様に。本年もよろしくお願いします。

新日本婦人の会福岡県本部

三輪 幸子

「下郷農協新聞新年号に寄せて」

あけましておめでとうございます。

昨年の漢字は「戦」となりましたが、今年は戦争が終結し平和な世界になることを、心から願います。

さて、新日本婦人の会は昨年10月19日に創立60年を迎えました。福岡県本部では12月4日に「創立60年 未来につなごう新婦人！」と題してつどいを開催しました。

創立以来の92歳の元気な会員から子育て世代の会員、また、親子2代にわたっての会員など200人近い会員の参加で、創立60年をお祝いしました。

60年のあゆみを映像で振り返り、さまざまな運動で女性の願いを実現してきたと改めて実感しているところです。

今、気候変動、さらにロシアのウクライナ侵攻により、世界の食料が危機に瀕しています。日本では、長年に亘る自民党政権の農業政策のもと食料の自給率が下がり、私たちは大きな不

安を抱えています。

1990年から新婦人と農民連との産直運動が始まりましたが、それ以前から北九州市内の新婦人支部を中心に、下郷農協との産直の取り組みが始まりました。

「安心・安全の食糧は、日本の大地から」と生産者のみなさんと交流を深めながら進める産直の取り組みは、今、ますます重要になっていくと思います。

地球温暖化による厳しい気候条件、また、政府の農業政策により、農畜産業は生産者の努力だけでは続けられない大変な状況にあると思います。

新婦人福岡県本部でも学習を深め、日本の農業を守るため少しでも力になれるよう産直運動を広げていきたいと思っています。今年もよろしくお願いします。



産直大地の会久留米

代表 緒方 忠臣

「毎度、暗い話で・・・」

新年あけましておめでとうございます。

今年はコロナの話題から解放されると思っていましたが、まだまだおさまらず、冬になってさらにはインフルエンザが流行っているみたいです。マスクを着けずに笑顔で暮らせる日はもう来ないのでしょうか。新年から暗い話で申し訳ありませんが、さらにこれに便乗して書かせて



いただきます。

消費者組織である私たちの会は年々、農協商品の購買額が下がっています。毎年10パーセントくらい落ちていきます。会員数も減ったし、会員が高齢化しているのだから「仕方がないよね」で済ませることができない問題です。なにが問題かというと、購買が減ると生産が減る、購買が減ると商品数も減る、購買が減ると値段も上がる、負のスパイラルになり、終りにはお互いの存在自体がなくなってしまうからです。

日頃は「農協があつて、安心・安全なものを口にすることができて本当にありがたい」というけれど、この当たり前だと思っていたことがなくなるかもしれないという危機感を改めて認識しなければいけません。会員が減り、高齢化のせいで購買力が落ちたのではなく、私たちが若い会員を増やしていけなかったから購買力が落ち、高齢化になったのです。また、昔は農協に対して商品の選択や商品の開発などの提案をガンガンおこなっていました。たまにはヒートアップすることもありましたがお互い真剣でした。でも今は

ただ決まったものを最小限注文するだけです。農協に対して物言うこともありません。また生産者との交流もほとんどなくなりました。私たちは今一度、生産者と農協と消費者組織の絆を

産直「土の会」

役員 高橋 麻理子

「設立当初の理念、継承を」

あけましておめでとうございます。

新たな年を迎え、皆様方にはお変わりなくお過ごしのことと思います。

農協にとって新体制でのスタートがより良いものになりますことを心より祈念いたします。私たち消費者は、いつまでも安心して口にすることが出来る商品を提供していただくことが願いです。

商品利用を始めて三十数年、子供たちに安心・安全な食べ物をと入会しましたが、役員となり、生産者を迎えるの料理講習会、産地に赴き生産者との交流会、下郷農協祭の参加・出店と足を運ぶうちにすっかりファンとなりました。懐かしく思い出

再確認、再構築するべきではないかとも思っています。

正月から口ばつかしの挨拶ですが、少しでも実現できるように動いていきたいです。今年もよろしく願います。

されます。

協議会では、産直担当職員と熱のこもった議論を交わし、密な時間を過ごしていましたが、今では農協からの一方的な報告ばかりで、会の意味を考えるようになってきました。

これからの農協に望むことは、生産者・職員の生活を守ってほしい、そして誇りをもって仕事に従事できる環境を作ってもらいたいと思います。

そのためには私たち消費者も尚一層の利用を会員の皆様をお願いしていくことだと思います。皆様、どうか身体に気を付けてお過ごし下さい。



1～2月の診療日について（お知らせ）

1, 担当医師

- * 酒見久哲先生（診療科目：内科・小児科・外科）・・・診察：火曜日、木曜日。
〈下郷診療所の管理者として津民診療所より診療に来て頂いています。〉
- * 樗木（ちしゅき）浩朗先生（診療科目：内科・循環器科・小児科）・・・診察：水曜日。
〈槻木診療所より診療に来て頂いています。〉
- * 内尾伸行先生（診療科目：整形外科）・・・診察：毎週金曜日（午前中）
①1月より土曜日は全て休診とさせていただきます。
〈内尾整形外科医院より診療に来て頂いています。〉

2, 診療時間

- * 火曜日～木曜日：8:30～（受付）、診療：9:00～12:00、13:00～17:00
- * 金曜日：8:30～（受付）、診療：9:00～12:00 午後は休診となります。

〈2023年1月の診療日〉

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1日	2日 休診	3日 休診	4日 休診	5日 酒見先生	6日午前 内尾先生	7日 休診
8日	9日 休診	10日 酒見先生	11日 樗木先生	12日 酒見先生	13日午前 内尾先生	14日 休診
15日	16日 休診	17日 酒見先生	18日 樗木先生	19日 酒見先生	20日午前 内尾先生	21日 休診
22日	23日 休診	24日 酒見先生	25日 樗木先生	26日 酒見先生	27日午前 内尾先生	28日 休診
29日	30日 休診	31日 酒見先生				

〈2023年2月の診療日〉

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			1日 樗木先生	2日 酒見先生	3日午前 内尾先生	4日 休診
5日	6日 休診	7日 酒見先生	8日 樗木先生	9日 酒見先生	10日午前 内尾先生	11日 休診
12日 酒見先生	13日 休診	14日 酒見先生	15日 樗木先生	16日 酒見先生	17日午前 内尾先生	18日 休診
19日	20日 休診	21日 酒見先生	22日 樗木先生	23日 休診	24日午前 内尾先生	25日 休診
26日	27日 休診	28日 酒見先生				

* 2月12日（日）は下郷診療所が当番医で酒見先生が担当します。

【診療体制の変更について】

2023年1月より内尾伸行先生（整形外科）の診察曜日が、毎週金曜日午前中（9:00～12:00）となります。

土曜日は全て休診となりますのでご注意ください。

【午後の診療について】

診療日の午後（金曜日を除く）は特に、往診やコロナワクチン接種等の対応があります。（行政の要請でコロナワクチン接種の枠を増やしています。）

一般外来の方は、緊急時以外は13時頃または16時以降の時間帯で受診いただきますよう、ご理解ご協力をお願い致します。

お問い合わせ：下郷診療所（TEL56-2361）まで



管理部

人事異動

【異動】

11月27日付けで、参事兼管理部長の藤田誠二郎を参事付部長へ異動しました。それに伴い、越尾喜久男参事兼購買部長が管理部長を兼務する事となりました。

【退職】

12月20日付けで、玉麻伸一郎（共済部長）が、一身上の都合により退職しました。

購買ふれあいの店

『指定ごみ袋取扱い中』

ごみ袋有料化に伴い、中津市指定のごみ袋各種を取扱いしています。

なお、ごみ袋代もポイント付与の対象となります！

＊中津市プレミアム商品券取扱中！！《2023年4月30日（日）まで》
＊ポイントが2倍になる「お誕生日は下郷農協へ行こう！キャンペーン」実施中！！

「ワンパク！たんけん中津」

子ども達が耶馬溪牛乳の工場を見学

このほど、中津市教育委員会主催の令和4年度 中津市青少年事業「ワンパク！たんけん中津」が市内小中学生19名の参加で行われ、子ども達は牛乳工場の見学で耶馬溪牛乳の製造過程や加工品へのこだわりについて学びました。

この取り組みは、中津の魅力について学び、実際に体験する「ふるさと学習」を通して中津への愛着を深める子どもたちを育てる事を目的に実施され、今回は耶馬溪や山国地域の施設や観光地を巡り様々な体験や発見をしたようです。

工場見学の子ども達からは、「下郷農協の牛乳の秘密を知れてよかった」「365日牛乳を集乳していてすごいと思った」「朝早くから作業していて、とても感謝しています」「耶馬溪牛乳おいしかった」などの感想が寄せられました。



農協職員から牛乳の説明を聞く子ども達

理事会だより

10月31日に第7回定例理事会、11月30日に第8回定例理事会を開催しましたので、議案および協議内容の一部概要をお知らせします。

【第7回定例理事会】

報告事項：①県常例検査結果概要について

②その他

提出議案：①9月決算承認の件について

②「資産査定規程」の廃止並びに「資産の評価に関する規定」の制定について

③2021年度決算並びに3ヵ年事業計画修正について

④臨時総会議案書について

⑤その他

【第8回定例理事会】

報告事項：①臨時総会開催結果概要について

②その他

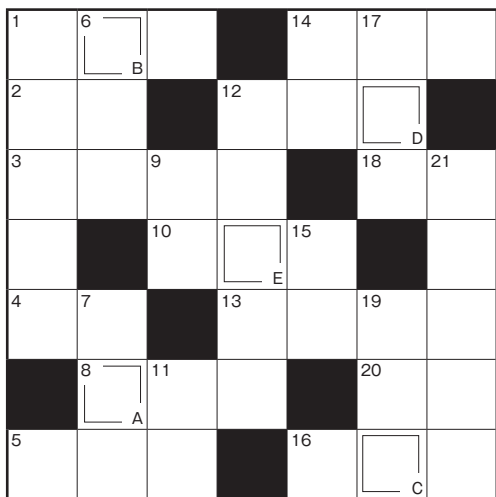
提出議案：①10月決算承認の件について

②その他

報告事項の県常例検査結果概要については、2022年10月18日～21日の4日間、2022年3月末基準日の県常例検査が行われた事が報告されました。

10月決算承認の件については、事業利益△10,311千円の計画に対し△35,543千円で25,232千円の未達成でした。計画対比では収益部門で農産607千円が達成、牛乳9,714千円・食肉3,916千円・診療所3,168千円・販売2,765千円・販売商品2,240千円等が未達でした。

＊上記定例理事会の他、10月25日、11月8日・16日・27日12時～・27日（臨時総会中）に臨時理事会を開催、行政庁の報告徴取に伴う報告、根拠当権および譲渡担保権の設定、2021年度決算並びに3ヵ年事業計画修正、抵当権設定、農協代理人弁護士の依頼、専務理事・代表理事専務の選任、代表理事組合長の選任について審議しました。



先月号のこたえ



先月号のこたえ 「ユキアソビ」

タテのカギ
1 2月の誕生石・アメシストは紫色の——です
6 刻みたばこを詰めて吸う道具
7 しが大ならばMは——
9 こうなった——を知りたいなあ
11 暖炉にくべます
12 3度の食事以外に食べるもの
14 バレンタインデーに実らせる人もいます
15 囲碁や将棋の指し手の記録
17 百貨店の——ガイドで目当ての売り場を探した
19 昆布と——節でだしを取った
21 例年2月4日ごろ。暦の上ではこの日から春です

ヨコのカギ

- 1 ウィンタースポーツの代表格
- 2 旧国名の1つ。現在の三重県の大部分
- 3 お吸い物などを入れる器
- 4 鬼は外、福は——
- 5 掃除道具の1つ。魔女がまたがれば飛べるかも?
- 8 車のフロントガラスに付くとギラギラして厄介です
- 10 旅先で眺めることもあります
- 12 もむと温くなるタイプもあります
- 13 遅い時間まで寝ずにいること
- 14 仁徳天皇陵もこの1つ
- 16 水分補給に役立つ——飲料は、電解質を加えてあります
- 18 働き者だといわれる昆虫
- 20 天ぐらを天——に漬けて食べた

読者プレゼント

パズル? 頭の体操

出題 ● ニコリ

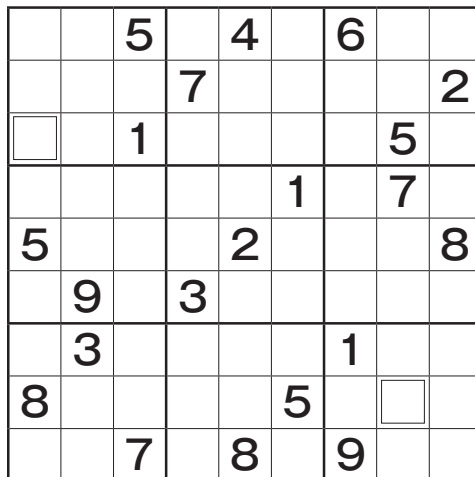


Q

二重枠に入った数字の合計はいくつ?

出題 ● ニコリ

数独 (すうどく)



先月号のこたえ



1	5	8	9	7	4	2	3	6
7	6	9	2	3	5	8	1	4
4	2	3	8	1	6	5	9	7
8	4	1	3	9	7	6	2	5
5	9	2	1	6	8	④	7	3
6	3	7	4	5	2	9	8	1
9	8	⑥	7	4	1	3	5	2
3	7	4	5	2	9	1	6	8
2	1	5	6	8	3	7	4	9

答え ④+⑥=10

(数独のルール)

- ① 空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
- ② タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つ)のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

解答は次号で

[考え方]

タテ列やヨコ列、3×3マスの各ブロックで、同じ数字が重複しないように数字を入れていくパズルです。計算は不要ですよ。例題で解き方を覚えましょう。右下のブロックには、まだ2が入っていないので、4つある空きマスのどれかが2になるはず。同じタテ列やヨコ列に2がない空きマスは、6のすぐ右のマスしかないので、2の入る場所はここだと決められます。このように、確実に数字が決められる場所を、注意深く根気強く探していきましょう。

例題

	7	2	9		5	8		6
	1			3			4	
4	9				1	3		
		7	8		9	2		5
	2			5			7	
6		3	7		4	1		
		1	4				5	3
	3			1			6	
5		4	3		2	9	8	

[例題の答え]

3	7	2	9	4	5	8	1	6
8	1	6	2	3	7	5	4	9
4	9	5	6	8	1	3	2	7
1	4	7	8	6	9	2	3	5
9	2	8	1	5	3	6	7	4
6	5	3	7	2	4	1	9	8
2	8	1	4	9	6	7	5	3
7	3	9	5	1	8	4	6	2
5	6	4	3	7	2	9	8	1